



# 仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の元気な情報を掲載！～

Vol. 1 1

平成23年12月27日

【発行】

宮城県仙台地方振興事務所

日本酒で地域の食文化を復興させたい！  
～「浦霞発, 日本酒のチカラ」プロジェクト～



塩竈市の蔵元(株)佐浦は地震に伴う津波により、約3万本のお酒を失いました。また、胸元まで到達したという浸水により、機械・器具類が故障し、仕込みタンクも30数本を入替える必要がありました。

そのような状況にありながら、東松島市内にある「矢本蔵」では、被害が比較的軽微だったため、4月上旬には瓶詰め作業を再開し、4月19日には酒造りを再開しました。また、地震後早々に、「復興へ頑張ろう!みやぎ-浦霞発, 日本酒のチカラ」プロジェクトを立ち上げ、平成24年3月31日までの間に出荷された浦霞について、1本販売するごとに5円を地元自治体に寄付するという取組みを始めました。

13代目にあたる現社長の佐浦弘一さんは、この取組みを始めた思いを「地域の食文化の復興無しに、地域の復興は成し得ないと思う。当社は江戸時代から地元と共に歩んできた。関わりの深い食文化を中心に何かをできればという思いでスタートさせた」と話しています。

また、佐浦さんは、震災を経て、人々の日本酒に対する意識が変わってきたと言います。「日本」や「地域」に対する今までとは異なる感情が、「日本」や「地域」を象徴する「日本酒」への意識を高め、需要が増加しているのではないかと推察します。

需要の高まりを受け、佐浦さんは今後の目標を、「復旧・復興にはまだまだ時間がかかると思

うが、今後も様々な地域にお酒を出荷していきたい。そして、日本酒が食文化の要であるのご理解いただき、復興の一助となれるよう、色々な場面で情報発信を行いたい」と話してくれました。

「出張!農家レストラン in 県庁ロビー」が開催されました

11月21日(月)、22日(火)、25日(金)の3日間、宮城県庁1階ロビーを会場に、「出張!農家レストラン in 県庁ロビー」が開催されました。これは、仙台地域の農家レストラン、産直施設等が自慢の品を販売し、その味と活動を都市部の方々に知ってもらおうことで、地元を足運んでいただくという試みです。



このイベントは、グリーンツーリズムの一環として、昨年初めて開催されたもので、今年は東日本大震災の影響を受けて、休業を余儀なくされている施設もある中、農家レストランの「秋保ベジ太倶楽部」(仙台)や「もろや」(仙台)をはじめ、「旬菜館」(亶理)、産直施設の「ハナトピア産直市の会」(岩沼)、「名取愛島産直施設設立準備委員会」(名取)、「大衡わらび山のさち園」(大衡)が出店し、生産者ならではの安さと生産物の情報で、お客様に好評をいただきました。

今回被災により出店できなかった沿岸部の産直施設も、「一日でも早く生産・販売を軌道に乗せ、皆さんに美味しい農産物を届けたい」と復旧作業に取り組んでいます。ぜひ農家レストランや産直施設に足を運んでいただき、宮城の生産者の頑張りを実感してください!



## 平成24年産水稲作付に向け除塩作業各地区で開始

地震に伴う津波により、仙台管内では約9,000haの農地が浸水し、塩害や土砂堆積、浸食など、甚大な被害を受けました。

土壌中に塩分が過剰に存在すると、土壌溶液の浸透圧が増加して、植物の根の吸水機能の低下や体外への水分流出が起こり、水分不足(生育障害)となって、植物は枯れてしまいます。



また、海水は土壌の固結化を引き起こし、排水不良となるため、作物の根腐れが発生するのです。

このようなことを防ぐため除塩対策は必要であり、平成23年産水稲作付に向け、春に約150haの農地の除塩作業が実施されました。

一般的な除塩の工事は、数段階の手順を踏むこととなります。初めに、農地の水はけを良くするための排水溝などを設置し、農地を耕起します。次に農地に水を溜めた後、水を抜く作業を、所定の塩分濃度をクリアするまで繰り返し実施します。



現在は、平成24年産水稲作付に向けて、約2,000haの農地で除塩作業が進められています。当事務所管内では、11月上旬から名取市を皮切りに除塩作業を実施しており、今後も、各市町において、地元関係者や被災した農家で構成されている復興組合の協力を得ながら作業を進めていきます。

## 「復興グリーンツーリズム in 松島」が開催されました

先の東日本大震災で、松島は奇跡的に大きな被害を免れました。しかし、地震に伴う津波により、松島湾の養殖棚の多くが流出し、特産のカキ養殖は大変厳しい状況にあります。

そこで、従来からカキ養殖用の竹の伐採を行ってきた松島町根廻地区の関係者が主体となって、11月上旬に、カキ養殖漁業の復興と竹林の整備を目的とした1泊2日のグリーン・ツーリズムツアーを開催しました。

これは松島を観光してもらうとともに、竹の切り出し等の奉仕作業をツアーに取り入れたもので、全国から参加者を募りました。

東京や神奈川をはじめ、西は京都から集まった参加者たちは、選別した竹をのこぎりで切り倒し、枝払いをしました。枝払いをした竹は崩れないように集積場所に積み上げていきます。コツと根気のいる作業ですが、参加者たちは、地元の恵みたっぷりの昼食を楽しみながら、丸一日かけて竹の伐採作業を行いました。また、作業終了後は、津波に負けずに育った貴重なカキをいただきながら、生産者たちと親睦を深めました。参加者の中には、「休みごとにボランティアに出かけている」という方や、「何かしたい」という思いから、初めてボランティアに参加したという70歳の女性もおり、「早く復興してほしい」という温かな言葉は、地元関係者の大きな励みとなりました。

このような取り組みから根廻地区では、「今後も竹林の保護を通して、養殖業の復興に力添えしていくと共に、竹細工等の積極的な展開により地域産業を育て、“松島町の完全な復興”を実現させたい。そして、全国の温かな支援に報いることができるよう頑張っていきたい」という気運が高まっています。



### ★ トピックス

平成25年仙台・宮城デスティネーションキャンペーンのキャッチコピーが「笑顔咲くたび 伊達な旅」に決定しました！仙台・宮城の皆さまが復興に向け着実に前進していることをPRするとともに、仙台・宮城を訪れる皆さまが笑顔いっぱいになれるよう、笑顔でおもてなしをしましょう！

笑顔咲くたび  伊達な旅  
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

仙台・宮城元気ニュースは、宮城県の復興を目指す皆さまに元気になっていただけるよう、仙台地域の明るい話題や元気な人の情報を発信していきます。

お問い合わせ先)宮城県仙台地方振興事務所  
地方振興部(担当:鈴木,高橋)

HP)<http://www.pref.miyagi.jp/sdsgsin/>

E-Mail)[sdsinbk2@pref.miyagi.jp](mailto:sdsinbk2@pref.miyagi.jp) TEL)022-275-9140